

# 日本産酒類の輸出促進に関する ジェトロの主な取り組み

日本貿易振興機構(ジェトロ)  
令和元年5月14日

JETRO

## ジェトロの日本産酒類の輸出促進に関する取り組み方針

「日本産酒類の輸出促進に向けた課題及び対応方針」の（１）情報発信の強化、（２）効果的な販路開拓・市場拡大、（３）人材の育成を着実に実施。

### （１）情報発信の強化

- ・ 関連機関・業界団体等と連携してインフルエンサー等に対して情報提供を行う。

### （２）効果的な販路開拓・市場拡大

- ・ 日本産酒類を対象に、輸出上位国、輸出単価が高い国等において有力な酒類専門見本市への出展、海外商談会の開催や海外バイヤーの招へい等により、国内事業者が海外バイヤーとの商談機会を提供する。
- ・ 日本産酒類の輸出促進を推進する関係省庁、関連機関・業界団体等と連携して事業を実施する。
- ・ 国内事業者が効果的な販路開拓が実現できるように、海外市場・規制等についてセミナー等による情報提供を行う他、個別企業の輸出の取り組みを専門家等により支援する。
- ・ 官民が一体となって海外展開を進める琉球泡盛について、国内事業者の輸出を支援する。

### （３）人材の育成

- ・ 日本産酒類の中で輸出金額、事業者数が多い日本酒について、今後市場拡大が見込める先進国の未開拓地域や新興国等において、バイヤー等向けにセミナーを実施する。
- ・ 日本産酒類の中で輸出金額が十分に伸びていない焼酎について、年平均伸び率が高い米国において、現地関係者による協議会で輸出課題や販路拡大方法等を協議する。

## 「Imbibe Live 2018」へ初出展、欧州へ日本産酒類の売り込み

## ◀「日本産酒類プロモーションブース」を初出展▶

- ◆英国最大級の酒類見本市「Imbibe Live（インバイブ・ライブ）2018」にて「日本産酒類プロモーションブース」を出展（ジェトロ・国税庁）。
- ◆国内の酒類事業者20社（日本酒14社、ワイン2社、ジン・泡盛2社、リキュール1社、ラム等1社）が出品。

## ◀ジンやスパークリング清酒、リキュール等、カクテルの割り材がバイヤーの注目▶

- ◆見本市へはレストラン、バー、ホテルのバイヤーなど、のべ1万人以上が来場。
- ◆出展社からは「非日系のバーやレストラン関係者を中心としてしっかり味が分かりクオリティーの高いバイヤーが多かった」などとコメント。

## ◀カクテルデモンストレーション開催、国内外のVIPを招待▶

- ◆日本酒と泡盛のカクテルデモンストレーションを開催。
- ◆ワイン等の世界的教育機関WSETで日本酒部門を創設した幹部、英国ソムリエ協会副会長ほか、計8名が参加し、「泡盛を試すのは初めてだが、黒糖等を使うなど沖縄の文化がアルコールの特徴としてうまく生かされていて非常においしい」と評価。



日本産酒類プロモーションブース



泡盛カクテル「Okinawa Old Fashioned」

## 「Imbibe Live 2019」への出展支援（予定）

## 【「Imbibe Live2019」日本産酒類プロモーションブース】（ロンドン）

- ◇主 催：国税庁
- ◇実 施：ジェトロ
- ◇会 期：2019年7月1日～2日（申込締切：5月21日）
- ◇会 場：Olympia Exhibition Center
- ◇募集者数：10社程度

## 日本産酒類支援 ▶ デュッセルドルフで日本産酒類商談会、プロモーションイベントを実施

欧州最大級酒類見本市「ProWein（プロワイン）」に合わせ、日本産酒類の売り込み・PRイベントを実施

### ◀ProWein会期前に、日本産酒類商談会を開催▶

- ◆ 2019年3月15日、デュッセルドルフ市内にて日本産酒類商談会を開催。日本から13社（日本酒10社、焼酎3社）の蔵元等が参加。独側は、レストラン関係者、小売店、輸入卸、メディアなど約80名が参加。
- ◆ 出品者から「代理店候補を発掘することができた」、「現地メディアの来場もあり日本産酒類の知名度向上に繋がる」等のコメントが寄せられた。



商談会の様子（3/15）

### ◀ProWein会期中に、見本市会場内で日本産酒類をプロモーション▶

- ◆ 2019年3月18日、ドイツソムリエ協会が主催する試飲イベント「APER0（アペロ）」にて、日本産酒類プロモーションブースを設置し、ProWein来場バイヤーやドイツソムリエ協会関係者等に対し試飲プロモーションを実施。
- ◆ 日本から13社（日本酒10社、焼酎2社、リキュール1社）の蔵元等が参加。



試飲プロモーション（3/18）

#### 【開催概要「日本酒類プロモーションイベントinデュッセルドルフ」】

- ◇主 催：国税庁
- ◇実 施：ジェトロ
- ◇開催日程：2019年3月15日（商談会）、3月18日（試飲プロモーション）
- ◇参加企業：13社（3/15）、13社（3/18）

## 香港市場への新規参入・販路拡大を目指す我が国企業等を支援

- ◆香港にて開催されるアジア最大級の酒類専門見本市（香港 2019年11月）  
「Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2019」に、ジャパンパビリオンを設置（ジェトロは2012年に初出展。今回で8年連続8回目の出展。）
- ◆日本の酒類の魅力を国際的にアピールするとともに、香港市場への新規参入・販路拡大を目指す我が国企業等を支援。

## &lt;見本市概要&gt;

見本市名：Hong Kong International Wine & Spirits Fair 2019

開催期間：2019年11月7日（木）～9日（土）

会場：香港コンベンション&エキシビションセンター

主催：香港貿易発展局

## &lt;ジャパンパビリオン概要&gt;

主催：ジェトロ ※農林水産省補助事業

参加日程：2019年11月7日（木）～9日（土）

対象：日本酒、焼酎、ワイン、ウィスキー、ジン、クラフトビール、リキュール等



(ジャパンパビリオンの様子)

## 日本産酒類支援 ▶ 米国南部で日本酒をPR

### 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会と日本の酒蔵の現地販路開拓を支援

- ◆ 日本酒の最大の輸出先である米国の中で、日本酒の認知度がまだ低いが、市場拡大が期待できる、南部のマイアミ（フロリダ州）、アトランタ（ジョージア州）、ダラス（テキサス州）で、JFOODOのBusiness Development活動（飲食事業者向け日本酒セミナー）にあわせて、全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会の会員企業4社が現地ディストリビューターとともに、レストラン関係者等に日本酒をPR。

#### 【開催概要】

- ◆ 主催：ジェトロ、全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会
- ◆ 開催日・場所
 

2019年2月25日（月）	マイアミ
2019年2月27日（水）	アトランタ
2019年3月1日（金）	ダラス
- ◆ 参加企業：4社



試飲の様子（ダラス）



セミナーの様子（ダラス）

## 日本の酒蔵21社が日本酒・焼酎の魅力をPR

## 《21の蔵元が参加し、日本酒・焼酎商談会を開催》

- ◆2019年3月21日、ウィーンにて日本酒造組合中央会と共催で日本酒・焼酎商談会を開催。
- ◆日本から21社の酒蔵が参加。ウィーン側は、レストラン関係者、輸入業者、小売店、メディアなど124名が参加。
- ◆出品企業からは、「輸入代理店が決まった」「購買意欲の高いバイヤーの来場が多く、実りある商談会だった」などのコメント。



商談会の様子

## 《商談会に併催して日本酒・焼酎普及セミナーを開催》

- ◆日本酒造組合中央会が日本酒および焼酎について、Sake Sommelier Associationの日本酒ソムリエの資格を有する講師が日本酒と焼酎のプロモーション方法について解説。



現地専門家によるセミナー

## 【開催概要「日本酒・焼酎商談会inウィーン」】

- ◇主催：ジェトロ、日本酒造組合中央会
- ◇開催日程：2019年3月21日
- ◇開催場所：グランドホテルウィーン

### 国税庁の海外酒類教育機関WSET招へい事業と連携し、群馬の日本酒をPR

- ・主催 : ジェトロ群馬、国税庁、群馬県、群馬県酒造組合
- ・開催日・場所 : 2019年1月29日、群馬県高崎市
- ・参加者 : 海外の日本産酒類専門家9名（欧米・アジア等）、群馬県酒造組合・酒蔵、自治体関係者など。
- ・内容 : スパークリング、生原酒、大吟醸、デザート用など群馬の9種類の日本酒と、群馬県産食材を使用した西洋料理とのペアリングを紹介。



ペアリングイベントの様子

### 日本酒造組合中央会の海外メディア等招へい事業と連携し、島根の日本酒をPR

- ・主催 : ジェトロ松江、日本酒造組合中央会
- ・開催日・場所 : 2019年1月17日、島根県松江市
- ・参加者 : 海外の食品・酒類メディア等7名（欧米・アジア等）、島根県酒造組合・酒蔵、自治体関係者など。
- ・内容 : 島根県の酒蔵全16蔵の日本酒と、島根県産食材を使用した和・洋料理とのペアリングを紹介。



ペアリングイベントの様子

## 九州焼酎商談会inサンフランシスコ（2018年9月7-8日）

## 《九州から9社の蔵元が参加し、九州焼酎商談会を実施》

- ◆ 焼酎の主要産地である九州より9社が参加し、「芋焼酎」、「麦焼酎」、「米焼酎」、「黒糖焼酎」等、焼酎のバラエティーをPR。
- ◆ 米国で蒸留酒を食中酒として飲む文化がないことから、食後酒としてアルコール度数の高い原酒（40度前後）もバイヤー向けに提案。
- ◆ 米国側はインポーター、ディストリビューター、飲食店関係者、メディアなど約110名が参加。焼酎への関心の高さを確認。



商談会の様子  
(於：The Ramen Bar)

## 《有力顧客にターゲットを絞ったC向け焼酎プロモーションも実施》

- ◆ 高級ワイン・スピリッツ店（Bacchus Wine & Spirits）を利用する優良顧客向けに焼酎試飲イベントを開催。
- ◆ 来場者から「芋、米、黒糖、麦等、原料のバラエティーに驚いた」、「樽貯蔵した焼酎が特に気に入った」、「アルコール度数の高い焼酎（原酒）の方が良い」等、今後の商品開発にも役立つ有益なフィードバックを得ることができた。



C向け試飲イベント  
(於：Bacchus Wine & Spirits)

## 本格焼酎商談会in米国（サンフランシスコ、ロサンゼルス）（予定）

## 【開催概要「本格焼酎商談会in米国（サンフランシスコ、ロサンゼルス）」】

- ◇主催：ジェトロ
- ◇会期：2019年7月12日（金）（サンフランシスコ）、7月14日（日）（ロサンゼルス）
- ◇会場：調整中（サンフランシスコ）、Japan House（ロサンゼルス）
- ◇募集者数：10社程度

## 琉球泡盛支援 セミナー、商談会、個別支援など重層的支援を展開

官民合同「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」の下、沖縄事務所を最大限活用して、輸出セミナーや海外見本市出品支援など各種事業を実施

《泡盛や観光業界向けに「琉球泡盛輸出セミナー」を那覇で開催》

- ◆ 「第2回島酒フェスタ」（2019年4月13-14日、那覇市）に合わせて、琉球泡盛輸出セミナーを4月14日に開催。
- ◆ 講師は日本在住の米国人焼酎・泡盛専門家で、内閣府のクールジャパンアンバサダーでもあるクリストファー・ペレグリニ氏。
- ◆ 英語編と日本語編を開催。英語編は泡盛に馴染みの薄い外国人（海外バイヤー、外国人観光客など）に泡盛をいかに分かりやすく紹介するか、日本語編は泡盛のどのような点に外国人が魅力を感じるのかを外国人の視点から解説した。



泡盛輸出セミナーの様子  
(那覇市、2019年4月)

《海外見本市や海外バイヤー招へいを通じて、泡盛の輸出商談を支援》

- ◆ 台湾国際総合食品見本市「Food Taipei」（2019年6月）に、泡盛酒造所1社の出品を支援。
- ◆ 沖縄で開催される沖縄大交易会（2019年11月）にあわせ、海外食品バイヤーの招へい・商談会を開催予定。また、泡盛に特化した酒類バイヤーの招へい・商談会の実施も計画。
- ◆ 本年度は、ジェトロが起用する民間出身の輸出専門家や、国内外事務所のネットワークを活用したきめ細やかな個社支援を強化。

## その他の活動

地方創生への貢献・海外市場・規制等の情報提供・個別事業者へのサービス

## 地方創生への貢献・海外市場・規制等の情報提供・個別事業者への支援サービス

## 地方創生への貢献

- 自治体や関係機関と連携し、ジェトロの商談事業等を効果的に活用し、成功事例の創出に取り組む「一県一支援プログラム」を2013年度から実施。
  - ・2013年度～2015年度：秋田県（日本酒）、福井県（日本酒）、鹿児島県（黒糖焼酎）
  - ・2016年度～：広島県（日本酒）、宮崎県（本格焼酎）
  - ・2018年度～：山形県（日本酒）、山梨県（ワイン）、沖縄県（泡盛）
- 地域単位での支援に取り組むパイロットプロジェクトの「地域貢献プロジェクト」を支援。
  - ・『地域資源を活用した九州の酒類（焼酎・日本酒等）の海外プロモーション』（2015年度～）
  - ・『伏見SAKEブランド構築プロジェクト』（2017年度～）
  - ・『東北・北海道とルクセンブルクの果実酒産業交流』（2018年度）
  - ・『日本酒&雄町米農家&備前焼「Quality Okayama」販路開拓プロジェクト』（2019年度～）

## 海外市場等の情報提供

日本産酒類の輸出の現状や海外市場等に関するセミナーを、2019年度は5都市で開催予定。  
 （日程調整中）岩手、愛媛、福岡、鹿児島  
 （実施済み）沖縄（4/14）

## 個別事業者への支援サービス

- 「新輸出大国コンソーシアム」専門家が、海外展開を図る中堅・中小企業等が抱えている課題の解決等を訪問やE-mail等を通じて支援。【68社支援】（2019年3月末時点）
- 輸出有望産品を有する企業を専門家が、輸出戦略の策定から契約締結まで一貫して支援。【6社支援】（2019年4月末時点）

## 現地規制等の情報提供

現地市場の状況を知るための「マーケット情報」、輸出する際に知っておくべき現地規則や流通イメージを得るための「輸出の留意点」、初めて輸出する方からよく聞かれる質問をまとめたQ&Aなどを掲載した、輸出ハンドブックをHPに掲載。

- 『日本酒輸出ハンドブック』  
香港、韓国、台湾、中国、米国  
カナダ
- 『焼酎・泡盛輸出ハンドブック』  
中国、タイ

